

別紙1 詳細機能要件一覧表

No.	大項目	小項目	内容	要件区分
1	基本機能	ユーザ管理	システム管理者がユーザの登録、削除等を一元的に管理できること。 ※システム管理者は教育委員会事務局を想定	必須
2	基本機能	ユーザ管理	ユーザ情報をExcelファイル等で出力できること。	必須
3	基本機能	ユーザ管理	セキュリティ確保のため、登録されている教職員の所属ならびに役職によって、各機能ごとに使用可・不可や削除・更新等の権限設定が可能なこと。	必須
4	基本機能	ユーザ管理	役職等による操作権限は開始日、終了日の期間の管理ができること。	必須
5	基本機能	ユーザ管理	1人のユーザが複数の所属ならびに役職を持てるようになること。	必須
6	基本機能	ユーザ管理	登録できるユーザ数に制限がないこと。	必須
7	基本機能	ユーザ管理	人事異動を考慮し、4月1日からユーザ情報で利用できるように未来日の権限を予め設定できること。	必須
8	基本機能	ユーザ管理	データ保護の観点から、過年度のデータは特定の権限を持ったユーザのみが閲覧・編集できるしくみがあること。	必須
9	基本機能	ユーザ管理	Excelファイル等で作成したユーザ情報を取り込むことにより、登録、削除等ができること。	必須
10	基本機能	ユーザ管理	認証時の情報(いつ・だれが・どこで(端末)・何を(認証箇所・ステータス・データ操作)をログ管理できること。	必須
11	基本機能	ユーザ管理	成績確定後の編集については、「いつ・誰が・どの児童生徒の・何の成績を・どのように修正したのか」を記録し、必要に応じて調査できること。	オプション
12	基本機能	ユーザ管理	システムからの自動ログアウト時間が設定できること。	必須
13	基本機能	ユーザ管理	パスワードに利用可能な文字(英・数・記号)及び文字数の制御が可能であること。	必須
14	基本機能	操作権限管理	操作権限により、各機能の起動制御ができること。	必須
15	基本機能	表示ウィンドウ	ウィンドウサイズを固定せず、利用者がOSの通常のウィンドウ操作にて自由にサイズに変更できること。	必須
16	基本機能	表示ウィンドウ	画面構成はウィンドウサイズに追従して適切なサイズに変更されること。	必須
17	基本機能	データ連携	自治体内で学校間のデータ連携が可能であること。(例:児童生徒の転出入、進学時の学籍情報、指導要録等)	必須
18	基本機能	外字	システム上で各市町村が要求する外字を使用可能とすること。	必須
19	基本機能	外字	システム利用端末への外字の配信や更新が可能であること。	必須
20	利用者管理	学校管理	学校名、住所等の基本情報が管理できること。	必須
21	利用者管理	学校管理	2学期制及び3学期制に対応しており、学校ごとに変更できること。	必須
22	利用者管理	教職員管理	教職員の基本情報(氏名、担任クラス等)が管理できること。	必須
23	利用者管理	教職員管理	教職員情報はExcelファイル等の取込により一括登録・編集ができること。	必須
24	学籍情報管理	児童生徒の基本情報の登録・更新機能	児童生徒の基本情報(正式氏名、通称氏名、ふりがな、生年月日、性別、住所、保護者氏名、保護者住所、入学前の経歴、在校兄弟、郵便番号、電話番号、緊急連絡先、スクールバス利用有無等)を管理できる機能を有すること。住所や緊急連絡先など直接入力する情報については、入力ミスを防止するため、手入力による登録だけでなく、入力枠にExcelファイル等からのコピー＆ペーストや、Excelファイル等の取り込みによる一括登録が可能であること。	必須
25	学籍情報管理	児童生徒の基本情報の登録・更新機能	上記の基本情報が、通知表や指導要録、成績一覧表等と自動的に連動する機能を有すること。	必須
26	学籍情報管理	児童生徒の基本情報の登録・更新機能	氏名については正式氏名と通称氏名の2種類を管理できること。また、通知表においては通称名、指導要録などの公簿においては正式名という使い分けができるようになっていること。	必須
27	学籍情報管理	児童生徒の基本情報の登録・更新機能	緊急連絡先については、1人の児童生徒につき、3カ所以上設定できること。また、緊急連絡先については、電話番号及び緊急連絡先の名称が管理できること。	必須
28	学籍情報管理	児童生徒の基本情報の登録・更新機能	電話番号、住所等を用いて兄弟の管理ができること。	必須
29	学籍情報管理	児童生徒の基本情報の登録・更新機能	クラブ活動・部活動・委員会活動・学級活動・児童生徒会活動については、児童生徒ごと、学期ごとに管理できること。また、児童生徒ごとに担っている役割情報もあわせて管理できること。	必須
30	学籍情報管理	児童生徒の基本情報の登録・更新機能	団体内共通で、最低10個以上、ユーザー独自の管理項目を自由に追加できる機能を有すること。	必須

別紙1 詳細機能要件一覧表

No.	大項目	小項目	内容	要件区分
31	学籍情報管理	児童生徒の基本情報の登録・更新機能	各学年において所属したクラス、指導要録の整理番号、担任の氏名を表示する機能を有すること。	必須
32	学籍情報管理	児童・生徒名簿取り込み機能	導入時の教員の負荷を考え、児童生徒情報の登録においては最低限の情報(氏名、学年、性別、ふりがな、生年月日など)だけでシステムへの取り込みができること。また、後から修正も可能であること。	必須
33	学籍情報管理	児童・生徒名簿取り込み機能	取り込み画面においてExcelファイル等を用いた入出力が可能なこと。	必須
34	学籍情報管理	児童・生徒名簿取り込み機能	取り込み完了時に、今回、取り込んだ児童生徒の人数及び在籍児童生徒の合計人数を表示できる機能を有すること。	必須
35	学籍情報管理	転出及び転入登録機能	入学・編入学、転入学、転学・退学・除籍等、卒業、進学先・就職先の情報を管理し、指導要録等と自動的に連動する機能を有すること。	必須
36	学籍情報管理	転出及び転入登録機能	同一自治体内の学校への転学時には、システムに登録されている選択肢からマウス操作などで学校を選択することで、転学先の学校の情報を簡単に入力できる機能を有すること。	必須
37	学籍情報管理	転出及び転入登録機能	同一自治体内の学校へ転学、進学する際、児童生徒の学籍情報、健康診断の情報などを自動的に引き継ぐ機能を有すること。	必須
38	学籍情報管理	進級及び進学登録機能	進級登録は年に1度の作業であるため、児童生徒の異動について、マウス操作などを用いて、直観的に入力できる機能を有すること。	必須
39	学籍情報管理	進級及び進学登録機能	任意の数・名称のクラスを作成でき児童生徒を所属させることができること。	必須
40	学籍情報管理	進級及び進学登録機能	特別支援学級を設定し、複数の学年に所属する児童生徒を1つの特別支援学級に所属させることができること。	必須
41	学籍情報管理	進級及び進学登録機能	児童生徒は通常学級と特別支援学級の両方に所属させることができること。	必須
42	学籍情報管理	進級及び進学登録機能	複式学級が作成でき児童生徒を所属させることができること。	必須
43	学籍情報管理	進級及び進学登録機能	習熟度授業など所属しているクラスとは別の授業グループを任意の数・名称で登録できること。	必須
44	学籍情報管理	進級及び進学登録機能	進級時及び同一自治体内の中学校への進学時には、児童生徒情報が簡単な操作で引き継ぐことができること。	必須
45	学籍情報管理	出力機能	名簿の作成機能があること。	必須
46	学籍情報管理	出力機能	児童生徒名簿は、Excelファイルにて出力できる機能を有すること。	必須
47	学籍情報管理	出力機能	児童生徒のクラス名簿、学年名簿、掲示用名簿、PTA名簿、緊急連絡網、座席表などの帳票がExcelファイルで出力できること。	必須
48	出欠管理	出欠情報登録機能	出欠情報が、通知表、指導要録、成績一覧表、調査書等に連動する機能を有すること。	必須
49	出欠管理	出欠情報登録機能	出欠情報については、マウス操作などを用いて、1ヶ月分などをクラス単位で簡単に入力できる機能を有すること。	必須
50	出欠管理	出欠情報登録機能	インフルエンザ等による学校閉鎖、学年閉鎖、学級閉鎖の場合に一括設定できること。	必須
51	出欠管理	出欠情報登録機能	欠席理由は自治体に合わせて設定できること。	必須
52	出欠管理	出欠情報登録機能	欠席者については、欠席の理由を入力できる機能を有すること。	必須
53	出欠管理	出欠情報登録機能	授業1コマごとの欠席も登録することができること。	必須
54	出欠管理	出欠情報登録機能	入力画面上で、入力状況にあわせてリアルタイムに、授業日数、出席日数、病欠、事故欠、出席停止、忌引きなどの集計が確認できる機能を有すること。	必須
55	出欠管理	出欠情報登録機能	誤入力や改ざん防止のため、入力後にロックする機能を有すること。	必須
56	出欠管理	出欠情報登録機能	学校管理者は、各クラスの月単位の出欠の状況を確認できること。	必須
57	出欠管理	出欠情報登録機能	長期欠席者など、特定の条件を満たす出欠情報を持つ児童生徒を検索・抽出できること。	必須
58	出欠管理	出欠情報登録機能	入力された欠席日数から長期欠席児童生徒及び長期欠席傾向児童生徒をシステムが自動的に抽出する機能を有すること。	必須
59	出欠管理	出力機能	出席簿を作成・印刷できること。	必須
60	出欠管理	出力機能	日本学校保健会が運用する「学校欠席者情報収集システム」に必要となる欠席状況に関する情報を出力できること。	オプション

別紙1 詳細機能要件一覧表

No.	大項目	小項目	内容	要件区分
61	成績管理	入力機能	教科別に児童生徒ごとのテスト結果(素点)を直接入力する機能を有すること。また、Excelファイル等を用いた入出力(コピー&ペーストを含む。)が可能なこと。	必須
62	成績管理	入力機能	テスト結果だけでなくテスト以外の記録(作品の評価点や提出物の状況点等)も素点で管理することができるよう、テストに限らない項目を自由に追加できること。	必須
63	成績管理	出力機能	各学校で、システムに登録されている成績情報を自由に組み合わせたフォームで帳票を出力できること。 一度校内の別の教職員によってシステム内に登録されたフォームは、同一校内の他のユーザも利用できる機能を有すること。	オプション
64	成績管理	入力機能	学期ごとに教員が設定した評価項目(平均点、小テスト、定期テスト等)に観点別に素点を入力し、予め各教員が設定したルールに従って観点別評価や評定を算出することができること。	必須
65	成績管理	入力機能	観点について、学年ごと、教科ごとに観点文言を編集できる機能を有すること。 また、観点間の重み付けにも対応可能であること。	必須
66	成績管理	入力機能	観点別評価や評定を算出する基準となるカットティングポイント(閾値)を各教員が独自に設定できること。	必須
67	成績管理	入力機能	評価及び評定の自動計算後も、手動で修正できる機能を有すること。その際、修正箇所を簡単に視認できる機能を有すること。	必須
68	通知表作成	評価評定 入力機能	評価・評定不能の取り扱いができる機能を有すること。	オプション
69	成績管理	入力機能	教科ごとの評価及び評定の入力については、マウス操作などを用いて、クラス単位で簡単に入力できる機能を有すること。また、特定評価及び評定を一括登録できる機能を有すること。	必須
70	成績管理	入力機能	評価及び評定の自動計算を利用せず、各教員が既存の方法で算出した評価や評定の結果のみを入力する方法でも可能なこと。また、その際、Excelファイル等を用いて一括登録ができること。	必須
71	成績管理	入力機能	入力情報にあわせて、クラスごとの分布や学年全体で教科の評価及び評定の分布情報を確認できる機能または帳票を有すること。	必須
72	通知表作成	評価評定 入力機能	前学期の評定と比較した増減数値が自動で表示される仕組みを有すること。また、2段階以上増減した理由を管理できること。	オプション
73	通知表作成	所見等 入力機能	学期ごとの所見、「総合的な学習の時間の記録」の評価、「外国語活動の記録」の評価、「特別活動の記録」、教科の所見(道徳科を含む)、学校生活の気付きなどについては、個人単位で文章入力ができる機能を有すること。その際、同一年度内の蓄積されている情報についても確認できる機能を有すること。	必須
74	通知表作成	所見等 入力機能	上記の管理項目とあわせて、同一画面内で教科ごとの評価及び評定、「行動の記録」の評価も簡単に確認できる機能を有すること。その際、同一年度内の蓄積されている情報についても確認できる機能を有すること。所見については前年度の情報も確認できること。	オプション
75	通知表作成	所見等 入力機能	教科の所見・学校生活の気付きについては、登録されている児童生徒ごとの情報を呼び出し、文章加工できる機能を有すること。	オプション
76	通知表作成	評価評定及び所見の取込機能	クラスごと、教科ごとの評価・評定及び、「行動の記録」、学期ごとの所見、「総合的な学習の時間の記録」の評価、「外国語活動の記録」の評価、「特別活動の記録」の入力については、Excelファイル等を用いた入出力が可能なこと。	必須
77	通知表作成	評価評定及び所見の取込機能	Excelファイルを用いた取り込み時に、児童生徒のずれを防止する機能を有すること。貼付時及び取り込み時にチェックがかかることが望ましい。その際、ずれている項目がカラー変更などで強調され、すぐにずれている箇所が視認できる機能を有すること。	必須
78	通知表作成	その他入力に関する機能	出欠の記録の自動集計の際には、集計対象とする期間を任意に選択できること。	必須
79	通知表作成	その他入力に関する機能	成績は管理職等の確認後にロックできること。または管理職等によって解除できること。	必須

別紙1 詳細機能要件一覧表

No.	大項目	小項目	内容	要件区分
80	通知表作成	出力機能	成績項目や所見欄は、印刷時に枠内での自動縮小や、文字数制限の設定などにより、文字切れなく表示されること。	必須
81	通知表作成	出力機能	必要に応じて、クラス全員、又は特定の児童生徒を選択して印刷することができる機能を有すること。	必須
82	通知表作成	カスタマイズ機能	表紙等は、各学校がデザイン、カスタマイズができること。	オプション
83	通知表作成	カスタマイズ機能	通知表の書式を学校ごとに変更できる機能を有すること。	オプション
84	通知表作成	カスタマイズ機能	通知表の観点、観点数・文言とも学校で自由に変更できること。	必須
85	通知表作成	カスタマイズ機能	特別支援学級に所属する児童生徒については、通常学級とは異なる書式の通知表が作成できること。	必須
86	指導要録作成	教科の成績入力機能	本システムで管理している児童生徒の学籍情報、出欠情報、通知表情報などと連動し、簡単な操作で指導要録を作成、印刷することができる機能を有すること。	必須
87	指導要録作成	教科の成績入力機能	特別支援学級に所属する児童生徒も上記と同様に作成、印刷することができること。	必須
88	指導要録作成	教科の成績入力機能	教科ごとの評価及び評定の入力については、直接入力の他に、同一年度の通知表情報と連動し、一括自動計算される機能を有すること。また、自動計算後も、手動で修正できる機能を有すること。	必須
89	指導要録作成	所見等の入力	「総合所見及び指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の記録」の評価、「外国語活動の記録」の評価、「特別活動の記録」、「特別の教科道徳」は、個人単位で文章入力ができる機能を有すること。その際、同一年度内の通知表の情報についても確認できる機能を有すること。	必須
90	指導要録作成	所見等の入力	上記の管理項目とあわせて、同一画面内で教科ごとの評価及び評定、「行動の記録」の評価も簡単に確認できる機能を有すること。その際、同一年度内の蓄積されている通知表情報についても確認できる機能を有すること。	オプション
91	指導要録作成	評価評定及び所見の取り込み機能	クラスごと、教科ごとの評価・評定及び、「行動の記録」、「総合所見」、「総合的な学習の時間の記録」の評価、「外国語活動の記録」の評価、「特別活動の記録」、「特別の教科道徳」の入力については、Excelファイルを用いた入出力ができる機能を有すること。	必須
92	指導要録作成	評価評定及び所見の取り込み機能	Excelファイルを用いた取り込み時に、児童生徒のずれを防止する機能を有すること。貼付時及び取り込み時にチェックがかかることが望ましい。その際、ずれている項目がカラー変更などで強調され、すぐにずれている箇所が視認できる機能を有すること。	必須
93	指導要録作成	出力機能	成績項目や所見欄は、印刷時に枠内での自動縮小や、文字数制限の設定などにより、文字切れなく表示されること。	必須
94	指導要録作成	出力機能	指導要録様式2の成績データは、Excel等で一括出力できること。	必須
95	指導要録作成	出力機能	「学籍に関する記録」、「指導に関する記録」を選択して印刷できる機能を有すること。	必須
96	指導要録作成	出力機能	必要に応じて、クラス全員、又は特定の児童生徒を選択して印刷することができる機能を有すること。	必須
97	指導要録作成	出力機能	指導要録及び抄本については、容易に改ざんできない形式での出力のみとすること。	必須
98	調査書作成	入力機能	調査書の成績データは、Excel等で一括入出力することができること。	必須
99	調査書作成	入力機能	成績データは、調査書作成にあたり通常学期以外での評価・評定ができること。	必須
100	調査書作成	入力機能	成績項目や所見欄は、印刷時に枠内での自動縮小や、文字数制限の設定などにより、文字切れなく表示されること。	必須
101	調査書作成	入力機能	調査書作成の際には、通知表作成などの際に入力された評定や所見などをコピーできること。	必須
102	調査書作成	その他入力に関する機能	出欠の記録の自動集計の際には、集計対象とする期間を任意に選択できること。	必須
103	調査書作成	その他入力に関する機能	調査書の成績は確認後にロックできること。またロックは管理職等によって解除できること。	必須
104	個人の記録	登録・確認・検索機能	小学校6年間、中学校3年間の最大9年間のデータが蓄積し、該当の児童生徒の9年間の学籍情報、日々の様子、面談の様子、出欠の情報、成績の情報を閲覧できること。	必須

別紙1 詳細機能要件一覧表

No.	大項目	小項目	内容	要件区分
105	個人の記録	登録・確認・検索機能	学校生活の中で気付いた児童生徒の情報を、担任だけでなく複数の教職員が入力できる機能を有すること。入力された学校生活の気付きの情報は、通知表や指導要録の所見等を作成するときに、参照・利用が可能であること。	オプション
106	個人の記録	登録・確認・検索機能	児童生徒を検索する機能として、氏名、クラス、クラブ活動、部活動、委員会活動、出欠状況等の条件で抽出できること。	オプション
107	個人の記録	登録・確認・検索機能	アレルギーのある児童生徒については、その情報を登録することができること。	オプション
108	個人の記録	その他	全国学力・学習状況調査の結果をシステムに登録して、そのデータをもとに集計できること。	オプション
109	時間割作成	入力機能	時間割を登録できること。	必須
110	時間割作成	入力機能	複数パターンの時間割を登録することができること。	オプション
111	時間割作成	入力機能	クラスの時間割は週単位でコピーできること。	オプション
112	週案・時数管理	週案の入力機能	週指導計画案、実績が登録できること。	必須
113	週案・時数管理	週案の入力機能	時間割が登録されていれば、その時間割をもとに週案を作成できること。	必須
114	週案・時数管理	週案の入力機能	週案には作成者や管理職がコメントを入力できる備考欄を設定すること。	オプション
115	週案・時数管理	週案の入力機能	登録された当該週の予定(計画)および累計の時数がそれぞれ自動集計されること。	オプション
116	週案・時数管理	週案の入力機能	1コマには任意の数の計画(予定)を登録でき、実際に実施した内容が異なる場合にも「実績」を登録できること。また、その場合、時数の集計は「実績」に応じた時数となること。	オプション
117	週案・時数管理	週案の入力機能	クラス単位の教科科目ごとの計画時間数、実績時間数、および標準時数との進捗の過不足を確認できること。	オプション
118	週案・時数管理	週案の入力機能	担当変更などを考慮し、登録している週案の内容を他の担当者に年度途中に引き継げること。	オプション
119	週案・時数管理	年間指導計画の入力機能	年間指導計画を登録でき、週案と紐付けられること。	必須
120	週案・時数管理	年間指導計画の入力機能	学校の行事計画を予定表に登録することができること。	必須
121	週案・時数管理	年間指導計画の入力機能	週案と紐付けられた年間指導計画の内容から、各指導内容についての実施状況を確認できること。	オプション
122	保健管理	全体	本システムで管理している児童生徒の学籍情報、転出入情報などと連動し、マウス操作などの簡単な操作で各種帳票を作成、印刷することができること。	必須
123	保健管理	全体	教育委員会から団体内全学校の統計データを出力できること。	オプション
124	保健管理	健康相談	児童生徒に対して行った健康相談について記録できること。	必須
125	保健管理	発育測定	クラス単位で同一年度内に最大12回の発育測定の記録(身長、体重、各種肥満度、低身長)の管理ができること。	オプション
126	保健管理	発育測定	発育測定の入力時には、クラス内の児童生徒ごとに身長/体重/座高の入力ができること。	オプション
127	保健管理	健康診断	健康診断データの入力は、Excel等で一括入力できること。	必須
128	保健管理	健康診断	健康診断の回数は複数回管理できること。	オプション
129	保健管理	健康診断	健康診断の結果を健康診断一覧表として作成できること。	必須
130	保健管理	健康診断	身長、体重は測定日とともに登録できること。	必須
131	保健管理	健康診断	身長、体重、測定日のデータは、日本学校保健会が発行する「子供の健康管理プログラム」に取り込み可能なExcelファイルに出力できること。	必須
132	保健管理	健康診断	身長、体重、測定日のデータより、日本学校保健会が発行する「子供の健康管理プログラム」で作成するのと同じ成長曲線、肥満度曲線を出力できること。	必須
133	保健管理	健康診断	身長、体重、測定日のデータより、日本学校保健会が発行する「子供の健康管理プログラム」で分析できる「成長異常群」9分類に該当する子どものリストを作成できること。	必須
134	保健管理	健康診断	診断項目ごとに、疾病マスタに登録された参加自治体内共通で選択肢形式で登録できるほか、学校独自の疾病も入力できること。また、「異常なし」などの特定の初期値を一括設定できること。	必須
135	保健管理	健康診断	学級保健簿(クラス別健康診断結果一覧)は、男女別と男女共通のどちらでも出力が可能なこと。	必須
136	保健管理	歯科検査	歯式の入力時に、一括して健康な歯を登録できること。	必須

別紙1 詳細機能要件一覧表

No.	大項目	小項目	内容	要件区分
137	保健管理	歯科検査	う歯未処置歯、処置歯、喪失歯、要注意乳歯、要観察歯などの検査結果を乳歯、永久歯別の歯数に集計できること。	必須
138	保健管理	歯科検査	1年に複数回実施する歯科検査が管理できること。	オプション
139	保健管理	健康診断票	蓄積されている過去年度の情報、転出入の情報、治療勧告・受診済みの情報など必要な情報が連動して自動記載できること。	必須
140	保健管理	治療勧告書	治療勧告有りの疾病が登録された児童生徒については、治療勧告の対象者として自動連動する機能を有すること。その際、自動連動後もユーザの手動操作で児童生徒ごとに勧告の取り消しが行える機能を有すること。また、治療勧告無しの疾病が登録された児童生徒についても、児童生徒ごとにユーザの手動操作で勧告対象者として切り替えができること。	必須
141	保健管理	治療勧告書	治療勧告有りの疾病が登録された児童生徒については、受診したかどうかの管理ができること。また、治療勧告有りの児童生徒を抽出し、受診したかどうかのわかる一覧表を出力できること。	必須
142	保健管理	治療勧告書	医師会の要求により様式のカスタマイズが必要となった場合は利用者側でカスタマイズできる機能があること。	オプション
143	保健管理	来室管理	保健室来室記録について、外科、内科、相談、保健室登校、その他、保健室再来室の観点で管理できること。また、基本情報として、来室日、来室・退出時刻、クラス、児童生徒名、発生時間帯、症状、処置内容等を管理できること。	必須
144	保健管理	来室管理	来室状況の一覧をExcelファイル等で印刷できること。	必須
145	保健管理	来室管理	来室状況を任意の期間(週、月、学期、年間)で集計できること。	必須
146	保健管理	保健日誌	保健日誌を登録できること。	必須
147	保健管理	保健日誌	天気、温度、湿度などを入力できること。	必須
148	保健管理	保健日誌	保健日誌の入力時には、保健室来室の情報が連動して表示される機能を有すること。	必須
149	グループウェア	ポータル機能	全体的な操作において直感的に分かり易い操作法とユーザーインターフェイスを備えていること。	必須
150	グループウェア	ポータル機能	個人が使いやすいように画面の設定を変更できること。	必須
151	グループウェア	スケジュール管理	トップ画面にスケジュールを表示することができること。	必須
152	グループウェア	スケジュール管理	校務支援システムで入力した各種予定の情報と連携し、当該情報がグループウェアのポータル画面上に表示されること。	必須
153	グループウェア	スケジュール管理	予定の表示に対して日、週、月など表示パターンを切り替えることができること。	必須
154	グループウェア	スケジュール管理	権限を設定することにより、予定の作成編集を制御することができること。	必須
155	グループウェア	スケジュール管理	学校の予定表、学年の予定表、個人の予定表などを活用してタスク管理を行えること。	オプション
156	グループウェア	学校日誌	学校日誌を作成し印刷できること。	必須
157	グループウェア	学校日誌	項目名や項目数は任意の内容に設定できること。	オプション
158	グループウェア	学校日誌	登録された行事予定等の情報を学校日誌に転用できること。	必須
159	グループウェア	学校日誌	登録された教職員スケジュールを学校日誌に転用できること。	必須
160	グループウェア	行事の入力機能	学校行事や校内行事を設定することができる機能を有すること。	必須
161	グループウェア	行事の入力機能	教職員の出張や研修会などの行事を設定することができること。	オプション
162	グループウェア	行事の入力機能	祝日及び土・日曜日の登校日設定、平日の休業日設定ができること。	オプション
163	グループウェア	備品、会議室予約管理	学校の備品や会議室の利用予約ができること。	オプション
164	グループウェア	備品、会議室予約管理	予約状況は日単位、週単位で確認できること。	オプション
165	グループウェア	掲示板	自治体内共通の掲示板、校内のみ閲覧可能な掲示板を作成することができること。	必須
166	グループウェア	掲示板	掲示板に掲載するメッセージには複数のファイルを添付することができること。	必須
167	グループウェア	掲示板	閲覧・書き込み権限を設定し、権限のある掲示板のみを一覧で表示させることができること。	必須
168	グループウェア	掲示板	掲示板のメッセージを検索できること。	オプション
169	グループウェア	掲示板	投稿された内容の掲示板の既読、未読状況が視覚的に把握できること。	オプション
170	グループウェア	掲示板	新しい投稿に関しては、ポータル画面に表示されること。	オプション

別紙1 詳細機能要件一覧表

No.	大項目	小項目	内容	要件区分
171	グループウェア	文書管理	同一自治体内(学校間ならびに教育委員会)で、様式集やマニュアル等のファイルをアップロード、ダウンロードできる書庫(ファイル保管スペース)があること。	オプション
172	グループウェア	文書管理	書庫はカテゴリに分けて分類し整理することができること。	オプション
173	グループウェア	文書管理	カテゴリごとにファイルをアップロードや閲覧できる権限を役職等によって設定できること。	オプション
174	グループウェア	アンケート機能	学校内で「単一選択形式」、「複数選択形式」、「文章形式」のアンケートを作成し、配信することができること。	オプション
175	グループウェア	アンケート機能	自治体内で教育委員会から学校に「単一選択形式」、「複数選択形式」、「文章形式」のアンケートを作成し、配信することができること。	オプション
176	グループウェア	アンケート機能	文書やアンケートは、教育委員会への回答を要する場合、管理職等による承認機能があること。	オプション
177	グループウェア	アンケート機能	アンケート作成者はアンケートの回答状況を確認でき、回答の有無、回答日時を一覧で確認することができること。	オプション
178	グループウェア	アンケート機能	アンケート作成者は回答内容をExcelで一括ダウンロードできること。	オプション
179	グループウェア	アンケート機能	新着のアンケートはポータル画面にお知らせとして表示することができること。	オプション
180	グループウェア	アンケート機能	アンケートをタイトル等で絞り込み検索できること。	オプション
181	グループウェア	アンケート機能	アンケートにファイルを添付できること。	オプション
182	グループウェア	アンケート機能	アンケートの回答開始日、回答終了日を設定できること。	オプション
183	グループウェア	アンケート機能	過去に作成したアンケートを元に、参照作成ができること。	オプション
184	グループウェア	回覧機能	学校内で回覧を作成し、情報を発信することができること。	オプション
185	グループウェア	回覧機能	発信した回覧については閲覧状況を確認することができること。	オプション
186	グループウェア	回覧機能	送信された回覧については、送信相手先での開封の有無を一覧で確認することができること。	オプション
187	グループウェア	回覧機能	回覧タイトルをクリックすると、詳細内容や詳しい回覧状況を確認することができること。	オプション
188	グループウェア	回覧機能	回覧の宛先には個人又はグループを指定して作成することができること。	オプション
189	グループウェア	回覧機能	回覧にはファイルを添付することができること。	オプション
190	グループウェア	回覧機能	回覧をタイトルで絞り込み検索できること。	オプション
191	グループウェア	回覧機能	一覧において、新着回覧を視覚的に確認することができること。	オプション
192	グループウェア	回覧機能	過去に作成した回覧を元に、参照作成ができること。	オプション
193	グループウェア	回覧機能	一件当たりの回覧の添付ファイル容量が制限できること。	オプション
194	グループウェア	イントラメール機能	各自治体内のユーザ間にて、個人、グループ宛にメールの送受信ができること。	必須
195	グループウェア	イントラメール機能	受信トレイ、送信トレイを個別で管理することができること。	必須
196	グループウェア	イントラメール機能	宛先・CC・BCCの設定ができること。	必須
197	グループウェア	イントラメール機能	返信、全員に返信、転送、引用返信ができること。	必須
198	グループウェア	イントラメール機能	ファイルが添付できること。	必須
199	グループウェア	イントラメール機能	一人当たりの送信/受信ボックス、メールー通当たりの添付ファイルの容量が制限できること。	必須
200	グループウェア	イントラメール機能	新着メールがあるかをトップページで確認できること。	必須
201	体力テスト	登録・入力	文部科学省が発行する「新体力テスト実施要項」に基づき体力テストの種目ごとに結果を登録できること。	必須
202	体力テスト	登録・入力	体力テストの結果データは、Excel等で一括入力(コピー&ペーストを含む。)できること。	必須
203	体力テスト	登録・入力	児童生徒の保健機能データ(身長、体重)と連携できること。	必須
204	体力テスト	計算	体力テストの種目ごと、年齢区分ごとに得点を算出できること。	必須
205	体力テスト	計算	体力テストの総合評価を年齢区分ごとに算出できること。	必須
206	体力テスト	統計	登録・入力されたデータをもとに、国や府に提出するファイルを作成できること。	オプション
207	体力テスト	出力機能	体力テストの個人結果を国や府の平均値と比較でき、個票として出力できること。	オプション
208	体力テスト	出力機能	体力テストの結果データはExcel等で出力できること。	必須